

岡山商科大学孔子学院、伝統芸術鑑賞会を開催

芸術の秋に、岡山商科大学孔子学院は二回にわたって中国の伝統楽器による伝統芸術鑑賞会を開催した。



岡山商科大学学長・孔子学院理事長である井尻昭夫先生のお招きに応じて、大連外国語大学芸術団は11月21日から26日までの間に、岡山商科大学及び孔子学院を訪問し、鑑賞会に出演した。

11月22日に芸術団一行は山陽放送を訪れ、RSKラジオ番組の収録に参加し、メンバーがそれぞれ自分の使っている楽器を紹介したり、その独特な音色を披露した。



11月23日午後、岡山商科大学孔子学院の会場にて第一回の伝統

芸術鑑賞会を開催した。始めに黎曉妮学院長は開会の挨拶をし、「提携校の大連外国語大学から芸術団を迎え、伝統芸術鑑賞会を通じて来場者の皆様に中国の伝統文化を体験していただけることを光栄に思います」と述べた。



芸術団はまず迫力の溢れている「盛世国楽」という合奏の曲ではじまり、それから「牧民新歌」「台風と戦う」「イ族舞曲」「美しい神話」「揚鞭催馬運糧忙」「賽馬」「茉莉芬芳」「蘭亭序」など中国の名曲を次々に演奏した。そのうち、芸術団は特別に新しくアレンジした「川の流れのように」「Lemon」「ハーフムーン・セレナーデ」「時の流れに身をまかせ」という日本の名曲を演奏した。中日の音楽文化が溶け合い輝きを放つかのような、精彩なパフォーマンスは来場者を深く惹きつけた。来場者の盛大な拍手が続く中、芸術団はアンコールで日本の名曲「昴」を演奏した。

最後に孔子学院の孟海霞副学院長は閉会の挨拶をし、芸術団の素晴らしい演奏に感謝し、「孔子学院は中国語の授業や文化活動を通して、引き続き中日両国の人々の相互理解を深めるために努力していきたい」と述べた。

11月24日、RSK イノベイティブ・メディアセンター能楽堂ホール tenjin9 にて第二回の伝統芸術鑑賞会が開催された。まず初めに、岡山商科大学の井尻昭夫学長より開会の挨拶があった。岡山商科大学と大連外国語大学の三十年にもわたる交流協力の歴史を振り返り、鑑賞会に参加された各界の友人に心からの歓迎の意を表し、芸術団一行に感謝の意を真摯に表した。それから来場者は芸術団の演奏を鑑賞した。



芸術団は「盛世国楽」「台風と戦う」「美しい神話」「揚鞭催馬運糧忙」「賽馬」「茉莉芬芳」「蘭亭序」などを次々に演奏し、さらに琵琶独奏の「よろいを脱ぐ霸王」と竹笛独奏の「鳳凰楼」を加えた。琵琶・竹笛・古箏・二胡という‘糸竹管弦’を交えて合奏し、ときにその楽器独特の音色と技法が表現され、行雲流水のような音声は能楽堂内に響き渡り、来場者に深い感銘を与えた。

演奏が終わって、方可佳団長は孔子学院主催、中国語講座の学生西田深雪様から花束が贈呈された。また方団長は挨拶にて、岡山商科大学のますますの発展を祈願するとともに、大連外国語大学側として今後、岡山商科大学孔子学院の文化芸術鑑賞活動をさらにサポ

一トし、両国間文化の交流と相互参考を増進し、中日両国人民の世代を超えた友好、共同発展をも推進していきたいと述べた。



鑑賞会に関して、RSK はニュースで報道し、衆議院議員逢沢一郎氏からは祝電をいただいた。来場の皆様からもアンケートで多くの感想の言葉をいただいた。



11月25日、芸術団の一行は井尻昭夫学長を訪問し、交流した。

今回の鑑賞会は孔子学院全員と大連外国語大学芸術団の努力のもとで、見事な成功を収めた。この鑑賞会で、両校間の提携がさ

らに進み、岡山市民の中国伝統音楽への理解がより深まったと思われる。

執筆：孟海霞 朱風

2024年11月28日